

(Translation)

Issuance Date: 2003. 04. 28
Submission Due Date: 2003. 06. 28

THE KOREAN INTELLECTUAL PROPERTY OFFICE
NOTICE OF GROUNDS FOR REJECTION

RECEIVED

SEP 25 2003

Technology Center 2600

Applicant(s) : NEC CORPORATION
Agent/Attorney : Hae-Sun Park and one other
Application No. : Korean Patent Application No. 2000-78893
Title of the Invention : PICTURE-PHONE DEVICE PROVIDING MEANS FOR
GUIDING OPERATOR'S LINE OF SIGHT TO SPECIFIC
DIRECTION THEREIN

This application shall be rejected on the following ground pursuant to Article 63 of the Korean Patent Law. If you have any objection, please submit an Argument or Amendment to the KIPO. (The term can be extended by one month each, however, a separate Acknowledgement of Extension of Time will not be issued.)

GROUNDS FOR REJECTION

Claims 1 to 5 of the present application can be easily invented by a person having ordinary skill in the art as below. In this regard, the present application cannot be patented under Article 29, Para. 2 of the Korean Patent Law.

[Ground]

Claims 1 to 5 of the present application are related to picture-phone device providing means for guiding operator's line of sight to specific direction therein characterized in that they comprise a light flashing display system near the camera in order to lead the operator's line of sight to the camera. However, such constitution can be easily invented from Japanese Patent Laid-Open No. Hei1-225294 (September 8, 1989) related to a constitution for installing source of light flashing in the television phone near the camera device.

[Attachment]

Attached 1. A copy of Japanese Patent Laid-Open No. Hei1-225294 (September 8, 1989)

Dated April 28, 2003

Examination Bureau 4 of Korean Intellectual Property Office

Examiner(s)-in-charge Hyung-Chul BYUN

출력 일자: 2003/4/30

발송번호 : 9-5-2003-015184794

수신 : 서울 강남구 역삼1동 824-19 동경빌딩

발송일자 : 2003.04.28

박해선 귀하

제출기일 : 2003.06.28

135-934

특허청
의견제출통지서
NOTICE OF GROUNDS
FOR REJECTION

출원인 명칭 닛뽕덴끼 가부시끼가이샤 (출원인코드: 519980604474)

주소 일본 도오교도 미나토꾸 시바 5초메 7방 1고

대리인 성명 박해선 외 1명

주소 서울 강남구 역삼1동 824-19 동경빌딩

출원번호 10-2000-0078893 Korean Pat. Appln. No. 2000-78893

발명의 명칭 오퍼레이터의 시선을 특정 방향으로 유도하는 화상전화제공장치



이 출원에 대한 심사결과 아래와 같은 거절이유가 있어 특허법 제63조의 규정에 의하여 이를 통지하오니 의견이 있거나 보정이 필요할 경우에는 상기 제출기일까지 의견서 또는/및 보정서를 제출하여 주시기 바랍니다. (상기 제출기일에 대하여 매회 1월 단위로 연장을 신청할 수 있으며, 이 신청에 대하여 별도의 기간연장승인통지는 하지 않습니다.)

[이유]

이 출원의 특허청구범위 제 1-5항에 기재된 발명은 그 출원전에 이 발명이 속하는 기술분야에서 통상의 지식을 가진 자가 아래에 지적한 것에 의하여 용이하게 발명할 수 있는 것이므로 특허법 제29조제2항의 규정에 의하여 특허를 받을 수 없습니다.

[아래]

청구범위 제 1-5항은 오퍼레이터의 시선을 특정방향으로 유도하는 화상전화 제공장치에 관한 것으로, 통화자의 시선이 카메라로 부터 멀어지지 않도록 카메라 근처에 광 방출 표시수단을 구비하는 것을 특징으로 하고 있으나, 이는 일본 공개특허공보 평 1-225294(1989.9.8)의 텔레비 전화기에서 발광원을 촬상장치에 근접하여 병설하는 구성으로 부터 용이하게 발명할 수 있습니다.

[첨부]

첨부 1 일본 공개특허공보 평 1-225294(1989.9.8) 끝.

2003.04.28

특허청

심사4국

영상기기심사담당관실

심사관 변형철



<<안내>>

문의사항이 있으시면 ☎ 042-481-5772 로 문의하시기 바랍니다.

특허청 직원 모두는 깨끗한 특허행정의 구현을 위하여 최선을 다하고 있습니다. 만일 업무처리과정에서 직원의 부조리행위가 있으면 신고하여 주시기 바랍니다.

▶ 홈페이지(www.kipo.go.kr)내 부조리신고센터

CITED INVENTION
IN THE KOREAN OFFICE ACTION
Japanese Patent Laid-Open No. Hei1-225294
(September 8, 1989)

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平1-225294

⑮ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)9月8日

H 04 N 7/14
H 04 M 1/02

8725-5C
B-7608-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 テレビ電話機

⑯ 特 願 昭63-51144

⑰ 出 願 昭63(1988)3月4日

⑱ 発 明 者 田 山 勇 群馬県新田郡尾島町大字岩松800番地 三菱電機株式会社
群馬製作所内

⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

テレビ電話機

2. 特許請求の範囲

撮像装置と受像装置とを同一のケース内に具備したテレビ電話機において、被写体を照明するための発光源を撮像装置の近傍に併設したことを特徴とするテレビ電話機。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は撮像機能と受像機能とを同一ケース内に具備したテレビ電話機に関するものである。

〔従来の技術〕

第3図に示すように、従来のテレビ電話機(1)は受像装置と撮像装置とを同一ケース内に収納して構成され、相手の画像を受信し表示すると共に、前方に位置した被写体(2)を撮像しその静止画像を電話回線を通じて相手に送信するものであった。

通常、テレビ電話機(1)は壁際(3)に電話

機(図示せず)と共に設置され、部屋内の照明(4)により照射された被写体(2)を撮像装置で撮影し、一方の受像装置に表示させると共に、又、電話回線を通じて相手側にも送信する構成となっていた。

上記構成のテレビ電話機においては被写体(2)が照明(4)を背にすることになり逆光となるので良好な撮像面を得ることが困難であった。また、被写体の正面から照明するためには専用の照明装置をテレビ電話機(1)側に設けるか、テレビ電話機の設置場所を工夫しなければならなかった。

〔発明が解決しようとする課題〕

従来の課題

従来のテレビ電話機は以上のように、逆光により良好な撮像面が得にくかったり、設置場所に制限を生じ、また専用の照明装置が別に必要であるなどの問題点があり、これを解消しなければならぬという課題があった。

発明の目的

この発明は上記のような課題を解決するために

なされたもので、常に鮮明な画像が得られ、また、設置場所の制限を受けたり、専用の照明装置を特に必要としないテレビ電話機を得ることを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

この発明に係るテレビ電話機は撮像装置近傍に被写体を照明するための発光源を設けたものである。

【作用】

この発明におけるテレビ電話機は照明手段を撮像装置の近傍に設けることにより、被写体に適切な照明を施してより自然な撮像を実現するものである。

【実施例】

以下、この発明の一実施例を図について説明する。第1図はこの発明の一実施例の正面図、第2図は同じく縦断面図である。本実施例のテレビ電話機(10)は1つのケース(11)の内部に撮像装置(12)と受像装置(13)が設けられ、更に撮像装置(12)の近傍に被写体を照明する

ための発光源(14)が設けられている。また、前面下部にはテレビ電話機(10)を操作するための操作ボタン群、すなわち、輝度調節ボタン(15)、撮像面を静止画像としてみるときに使用するポーズボタン(16)、送信ボタン(17)、電源スイッチ(18)が設けられている。撮像装置(12)と発光源(14)の前面にはこれらを保護するための透明窓(19)が設けられている。

上記構成になるテレビ電話機(10)を使用するには、電源スイッチ(18)を入れることにより撮像装置(12)、受像装置(13)に電源が供給されると同時に発光源(14)にも電源が入り被写体を照明する。撮像装置(12)は常に被写体の正面から照明されるので常時最良の状態で撮像可能となり鮮明な撮像面の送信が可能である。

なお、上記実施例において発光源を特に近赤外光LED発光源とすることにより、暗視下においても撮像可能となり、夜間の寝室や休養室など電話当事者以外の安眠や休息を妨げることを極力避

ける必要がある場合などに特に有効であり、用途の拡大が図れるものである。

【発明の効果】

以上のように、この発明によればテレビ電話機の撮像装置の近傍に発光源を設けることにより、被写体に良好な照明を施し鮮明な画像を得ることができ、又、設置場所の制限がなくなる等の効果が得られる。

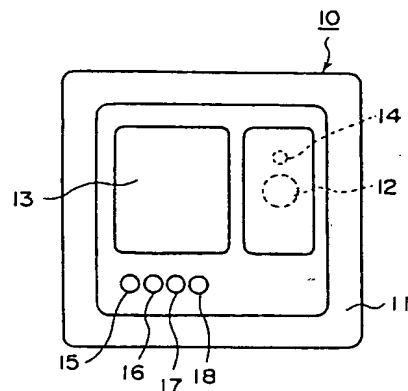
4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例を示す正面図、第2図は同じく断面図、第3図は従来のテレビ電話機の使用の態様を示す説明図である。

図において、(10)はテレビ電話機、(11)はケース、(12)は撮像装置、(13)は受像装置、(14)は発光源である。

なお、図中、同一符号は同一、又は相当部分を示す。

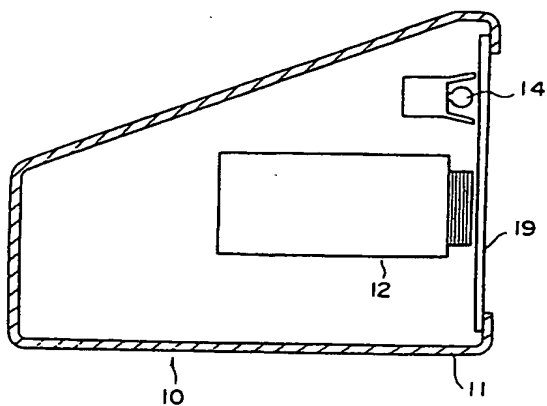
代理人 弁理士 大 岩 増 雄
(他 2 名)



本発明に係るテレビ電話機の撮像装置の正面図(実施例)

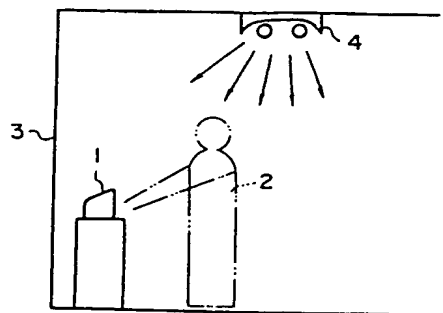
第 1 図

- 10:テレビ電話機
- 11:ケース
- 12:撮像装置
- 13:受像装置
- 14:発光源
- 15:輝度調節ボタン
- 16:ポーズボタン
- 17:送信ボタン
- 18:電源スイッチ



第1図実施例の横断面の概略図

第 2 図



従来のテレビ電話機の説明図

第 3 図